

●吉田信弘議員●

子ども用球技等の施設整備について

問 広陵町内において、サッカー・ラグビーなどスポーツをする子どもたちが増えてきています。こうした中、施設の整備を早くしてほしいとの声は多くあがっています。今回で施設整備を求める質問は2回目です。このたび、クリーンセンター（新清掃センター）の南側に子どもたちが球技等に使えるグラウンドの整備が、今年度から取りかかると聞いています。その概要についてお尋ねします。

事を完成し、芝生養生期間を1年間置きながら子ども用芝生広場として使用を考えております。残る用地については、クリーンセンター施設進入道路の確保と状況を見まして、将来、第二広場として整備を計画していきたいと考えております。



平岡町長 クリーンセンター施設南側の子ども用球技場の整備についてですが、今年度、まちづくり交付金事業により多目的広場として整備を行います。広場は、東西に幅約38メートル、南北に約80メートルの約3,000平方メートルの芝生広場を計画しております。この事業地は、現在、クリーンセンター施設進入路と重複しているため、道路切り替え等の工事を進めながら、来年5月に工

●長濱好郎議員●

5年間で50人と5億円の削減を問う

問 平岡町長は2期目の選挙公約として5年間で職員50人、そして人件費5億円の削減というとてもない公約に挑戦をされました。昨年6月に3期目の選挙があり、2期目の公約から5年が経過したがその成果を知りたい。

職員50人削減については、現職員の負担が増加する中であって、並々ならぬ努力と理解があったことはいうまでもないが、少なからず町民各位の協力と支援があったのではないかと私は思う。また、町の職員というのは、その町の貴重な財産である。この5年間、5〜10人程度退職等で減少した。その分は現職の職員さんがカバーをしい、行政が運用されてきたことは確かである。

そこで、お聞きします。町長はいつ頃、新規職員採用を考えているのか。また、その方法等についてはどうかを問う。

平岡町長 私の2期目の公約であり、第3次広陵町行政改革大綱及び集中改革プランとして取りまとめました。

平成17年4月1日現在の職員数、238人に対しまして、平成22年4月1日現在188人になり、目標を達成することができました。短期間でこれだけの職員を減らすことができた町は、全国的に見てもまれであると自負しております。また、職員も協力し、意識を変えることにより、住民にご迷惑をお掛けしないようにがんばっていただいております。

今年度以降につきましては、今後の行政需要に応じていくためには、公務員本来の仕事はどうあるべきか、人的資源の活用とともに職員が担うべき範囲と役割を明確にしながら、必要な人員配置、職員採用を進めたいと考えております。

